

令和元（2019）年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」
（住まい活動助成部門） 中間報告

団体名

鶴甲サポートセンター

活動のテーマ

エレベーターの無い5階建分譲マンション等に住む高齢者等への多様な暮らしサポート活動

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- 1・広報活動 「住まいる鶴甲」第24号・2019年6月初旬に全戸配布しました。
第25号・2019年9月初旬に全戸配布しました。
- 2・サポート活動 ハロー券の利用数は、461枚でした。
ミナヨイ券の利用数は、260枚でした。
- 3・サポート会員 新規加入所帯数＝16所帯（累計129所帯）でした。
- 4・空き家対策 鶴甲地域を7ブロックに分けた目視活動を6月及び9月の2回実施しました。。
但し、本年9月、神戸大学隣接地に169戸の新築マンションが完成し、住民移動が若干生じている為。修正調査を年度内に実施します。
- 5・地域活動の協同連携
次世代交流を目的に「水車新田にホテルを復活させる会」を立ち上げ、「ホテル祭り」を6月に実施しました。現在、鶴甲小学校にて幼虫等飼育中です。
- 6・

今後の活動予定と令和2年3月末時点の達成予定項目

- 1・広報活動 「住まいる鶴甲」12月及び翌03月に発行配布します。
- 2・空家マップを完成させ、成果品を提出します。
- 3・街並み景観に取り組むチラシ（別紙添付）投函を行います。
- 4・

(1) 活動のテーマ

エレベータの無い5階建て分譲マンション等に住む高齢者等への多様な暮らしサポート活動。

(2) 助成対象活動に至った理由や背景

2015年8月、兵庫県「高齢者コミュニティビジネス離陸応援事業」の助成を受け、住民の溜まり場づくりを目的に「まちの駅つるかぶと」を開設しました。この活動の中で顕在化した高齢者の困りごとの相談は、エレベータのない5階建て共同住宅の住戸からのゴミ出し等の日常生活の問題でした。住民が相互に助け合い安心して暮らせる街を目指して、2015年12月「鶴甲サポートセンター」を設立いたしました。

(3) 9月までの活動の進捗状況

・ ハロー券によるサポート活動（ゴミ出し）

ハロー券の利用数は、461枚でした。



・ ミナヨイ券によるサポート活動

ミナヨイ券の利用数は、260枚でした。



・ 広報誌「住まいる鶴甲」の発行

第24号（2019/6）、第25号（2019/10）発行いたしました。



・ H&C 研究発表会並びに H&C 視察兼サポーター交流会

H&C 住まい活動助成事業研究発表交流会（2019/07/12）

H&C 視察並びに第14回サポーター交流会（2019/10/01）



左から順に、発表会での講演、鶴甲の街並みの視察(H&Cの方々)、視察兼サポーター交流会

・ 会員数の変動

16世帯増加し、累計で129世帯となっています。

・ 空き家対策

本年6月及び9月の2度にわたり鶴甲地区を7ブロックに分けて目視活動を行いました。本年9月に神戸大学隣接地に169戸の新築マンションが建設され、住民の移動が生じておりますので、修正調査を年度内に実施いたします。

・ 地域活動の共同連携

次世代交流を目的に「水車新田にホテルを復活させる会」を立ち上げ、6月に「ホテル祭り」を実施しました。ホテルは、鶴甲小学校の生徒が幼虫等飼育しています。



左から順に、ホテルが放流された六甲川、放流を準備する小学生、薄明かりが残る中参集した人々

(4) 今後の活動予定

広報活動： 「住まいる鶴甲」12月号、3月号を発行し、全戸配布致します。

空き家マップ： 空き家マップを完成させ、成果を提出いたします。

町並み景観への取り組み： 町並み景観に取り組むチラシの配布を行います。

2019 鶴甲サポートセンター Issue.1

町並み景観に 取り組んでいます

こんにちは、鶴甲サポートセンターです。
 建物の放逐は、景観のみならず防災上の問題もあります。
 また、蚊や他の害虫の発生の温床にもなり、近隣に迷惑をかける
 ことになりかねません。
 鶴甲サポートセンターにお手伝いさせていただきませんか？

鶴甲サポートセンターがあなたの悩みを解決します

鶴甲サポートセンターは、高齢者の困り事サポートを主目的に2015年12月に設立され、瀬区福祉協議会に登録された有償ボランティア団体です。運営は
 公的助成金や共済寄付で賄われています。
 有償ボランティア料金は、ボランティア一人あたり半日利用で僅か2,000円
 です。
 半日利用とは、利用時間9:00～11:30または13:30～16:00をいいます。
 (実例は、別冊の「住まいる鶴甲」第23号(2018年12月発行)をご覧ください)
 (費用の計算例) サポーター4名を半日利用の場合、
 2,000円×4名+会費登録費1,000円+材料費1,000=10,000円)

発注までの流れ

ともかく下記へ電話して下さい

担当者がお伺いして調査を実施させていただきます

納得したら発注して下さい



空き家管理も
はじめました

連絡先 鶴甲サポートセンター 設周年月日: 2015/04/10
 090-3166-9785 (桑田 結) 瀬区鶴甲3丁目5-29-106
 090-8824-5762 (所 良晴) 瀬区鶴甲2丁目3-2-406)